

第11次秋田市総合計画の総括について

【19-21期計画の目標達成状況】

1 目標値の設定

第11次総合計画では、年度ごとの達成状況を把握することにより、総合計画の進捗管理を行い、各分野の取り組みの精度を上げていくため、3年間の期間計画内に達成を目指す主要施策ごとの目標値(合計124指標)を盛り込んでいる。また、この目標値の達成状況については、毎年市ホームページで公開している。

なお、平成22年度における総合計画の進捗管理に当たって、19-21期計画を1年間延長しており、このことに伴う目標値の変更については、平成22年度実施計画の中で整理した(22指標)。

2 目標値の達成状況

(1) 達成状況の推移

設定した目標値の達成状況の詳細については、資料1「19-21期計画の平成21年度末までの進捗状況」に記載のとおりであるが、それぞれの達成状況には、各部局の自己評価に基づき「順調」「課題あり」「達成困難」「測定不能」の4分類での評価を毎年度行っている。

達成状況の評価は、以下の表のとおりとなっているが、結果としては、124ある指標のうち、43.5%にあたる54指標が順調に推移しており、年を追うごとに順調に進んでいる目標値が減少し、その一方で、施策を推進する上で課題が明らかになったものや、「達成困難」のものが増加している。

また、一部ではあるが、統計調査項目の廃止などの理由に伴い、目標値の進捗管理が困難になった指標も見られた。

達成できていない指標については、目標設定の妥当性や、社会経済情勢などの周辺環境の変化による影響など、その理由を明らかにしながら、次期総合計画でより適切な目標を設定する必要がある。

なお、目標達成状況の評価において、「順調」の項目が減少しているのは、各年度末段階における達成状況の調査を行っていることによる。(前年に目標値を達成している項目についても、進捗状況をはかっている。)このため、項目によっては、年度ごとに達成状況の幅が大きいものも存在している。

各年度末の達成状況の評価の推移

達成状況の評価	19年度末	20年度末	21年度末
順調	77	62	54
課題あり	32	44	45
達成困難	11	13	20
測定不能	4	5	5
合計	124	124	124

(2) 個別項目の評価結果の概要

21年度末における各章の達成状況について、それぞれ目標の達成状況の項目数は、以下の表のとおりとなっている。第1章以外の項目では、「順調」とした項目が最も多くなっている。一方で、第1章では、「課題あり」が40%となっており、「順調」よりも多くなっている。また、第4章では、章の全体の55%が「順調」となっている。

21年度末の章別の達成状況

	順調	課題あり	達成困難	測定不能
第1章（産業・経済分野）	11	14	6	4
第2章（環境・都市分野）	13	12	4	0
第3章（安全・安心分野）	12	7	4	1
第4章（福祉・支え合い分野）	11	5	4	0
第5章（文化・教育分野）	7	7	2	0
合計	54	45	20	5

ア 目標を達成できた主要施策

各主要施策において、全ての目標値が達成できている施策は、以下のとおりである。社会資本整備に関する分野は、順調に進んでおり、市として主体的に行う施策については、指標の達成状況もおおむね良好である。

- ・人材育成と求職者への支援
- ・働きやすい環境の整備
- ・森林資源の保全
- ・都市と農村間の交流の促進
- ・自然環境保護の推進
- ・環境教育・学習の推進
- ・都市緑化の促進
- ・情報環境の整備
- ・大規模事故の予防策の整備

- ・地域保健・医療体制の充実
- ・感染症対策の実施
- ・家族・地域をつなぐ取り組みの推進
- ・地域福祉活動の促進
- ・地域の自治活動への支援
- ・自治活動拠点の整備
- ・市民活動の機会の拡充
- ・スポーツ施設の整備・活用
- ・国際交流活動の推進
- ・地域に根ざした多文化共生の推進
- ・教育環境の整備
- ・高等教育の環境の整備

イ 目標を達成できなかった主要施策

各主要施策において、全ての目標値が達成されていない施策は、以下のとおりである。産業経済に関する分野は、目標に届く指標が少なく、市民生活に関わるバスや保育サービスなど民間部門も大きく関与するものについては、施策を推進していく上で課題が見られた。

- ・企業誘致と市内企業の活性化
- ・企業向け用地の開発・整備の推進
- ・雇用創出の促進
- ・輸出入の均衡の取れた貿易振興策の実施
- ・広域交通機能の向上とネットワーク化の促進
- ・生産・流通・販売体制の構築
- ・里地・里山の保全
- ・通年滞在型観光の確立の促進
- ・建築指導の実施
- ・バス交通機能の確保
- ・水害・土砂災害対策の実施
- ・健康危機の防止体制の整備
- ・国民健康保険の健全な運営
- ・保育サービス提供体制の整備
- ・高齢者の社会参加の促進
- ・市民活動に参加しやすい環境づくり
- ・文化施設の整備
- ・スポーツ活動への支援
- ・青少年の健全育成の推進

ウ 計画期間内に課題が生じ、進捗管理ができなくなった主要施策

統計上の制約等の事情により、目標を進捗管理することができなくなった主要施策は、以下のとおりである。これらの主要施策については、次期総合計画の目標設定において、特に留意する必要がある。

- ・企業の販路拡大の推進（指標としていた事業の導入を取りやめたため）
- ・地域ブランドの創出の促進（指標としていた事業の導入を取りやめたため）
- ・農林水産業経営体の育成（統計調査項目の市町村別数値を平成20年度から公表ししないこととしたため）
- ・農林水産業の収益の向上（統計調査項目の市町村別数値を平成20年度から公表ししないこととしたため）
- ・疾病の予防策の実施（平成20年の老人保健法の改正に伴い、基本健康診査から特定健康診査となり、数値の把握ができなくなったため）

3 目標達成状況に関する分析

(1) 社会経済情勢の影響により達成できなくなったもの

目標達成状況については、第1章の経済産業分野の目標値の達成状況が、非常に悪い結果となっており、指標の中には、策定時の現況よりも悪化しているものも見られる。例えば、ハローワーク秋田管内における有効求人倍率は、策定時には、0.66倍であったのが、21年度末には0.44倍にまで悪化している。

(2) 国の制度改正により達成できなくなったもの

目標値の中には、国の制度改正等により、目標の進捗管理ができなくなった事項に加えて、進捗が十分にはかれなくなった項目が見られる。例えば、国民健康保険は、後期高齢者医療制度の導入により、収納率の高い世代が、国民健康保険から外れたことにより、目標値を下回ることとなった。

(3) 国の政策により順調に推移したもの

目標値の中には、社会的な背景から力を入れるべき施策として、国や県でも力を入れるようになり、結果として目標を上回るペースで達成することができた項目も見られた。例えば、施設の耐震化率などの目標は、平成18年に「耐震改修促進法」の改正が施行され、国及び地方公共団体による計画的な耐震化の推進や建築物に対する指導等の強化が位置づけられるなどにより、順調に推移している。

(4) 市の取組により順調に推移したもの

道路整備をはじめとする社会資本整備を進める施策については、行政部門のみの活動で目標が達成されることから、一部に例外はあるものの、おおむね順調に推移してきている。

(5) 総括

19－21期計画の計画期間内においては、100年に1度と言われる世界的同時不況の中で、経済情勢が計画策定時に予想していたものとは、全く変わってしまったことが、目標値との乖離の理由として挙げられる。このため、19年度末までは順調に推移していた指標も、20年度末以降に大幅に悪化・後退するなど、達成が困難な状況になったものも見られる。

今後は、第11次総合計画で達成できなかった「企業誘致」「雇用創出」「貿易振興」「生産・流通・販売体制の構築」「通年滞在型観光の確立」などに重点を置くとともに、進捗管理を行うことができなかった「地域ブランド」「農林水産業の収益の向上」などの施策について、特に力を入れて進めていく必要がある。

19-21期計画の平成21年度末までの進捗状況

1章 豊かで活力に満ちたまちづくり

1節 商工業の振興

1項 企業立地、事業拡大の推進

凡例	○：順調	△：課題あり
	×：達成困難	－：測定不能

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	商工部	秋田市商工業振興条例に基づく優遇制度の適用を受けた企業の設備投資認定額	104億円	75億円	77億円	88億円	150億円	○
2	商工部	チャレンジオフィスあきたを単立つ企業数	3企業	8企業	14企業	18企業	12企業	○
3	商工部	市工業団地への新規立地・移転誘致誘導企業数	3社	2社	1社	0社	6社	○→△

2項 市内企業の活性化の推進

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	商工部	販路拡大支援活用企業数	0企業	－	－	－	6企業	－
2	商工部	秋田市選定品の品目数	0品目	－	－	－	10品目	－
3	商工部	秋田商工会議所、河辺雄和商工会が実施する個別企業への巡回指導件数	商工会議所 5,009件 商工会 2,201件	商工会議所 3,762件 商工会 2,038件	商工会議所 5,132件 商工会 1,890件	商工会議所 4,257件 商工会 2,105件	商工会議所 5,260件 商工会 2,311件	△
4	商工部	ソフト事業、共同施設設置などを実施する商店街の比率	68.6%	68.6%	57.10%	54.50%	74.3%	△→×

3項 雇用拡大の推進

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	商工部	ハローワーク秋田管内有効求人倍率	0.66倍	0.60倍	0.35倍	0.44倍	1.00倍	×
1	商工部	高校卒業者の県内就職率	80.0%	58.5%	57.5%	83.2%	85.0%	△
1	商工部	秋田市商工業振興条例に基づく優遇制度の適用を受けた企業の新規雇用の増加数	611人	182人	119人	290人	1,500人	△
2	商工部	年間の就職支援講座受講者の数	250名	514名	1118名	3,401名	350名	○
2	商工部	年間の就職支援講座受講者の就職率	35.0%	45.0%	25.7%	71.8%	45.0%	△→○
3	商工部	勤労者福祉施設の年間利用者数	43万人	462,230人	463,649人	481,504人	45万人	○

4項 貿易と物流の拡大

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	商工部	年間輸出額	450億円	511億円	389億円	217億円	550億円	×
1	商工部	年間コンテナ貨物取り扱い量	31,367TEU	31,575TEU	30,728TEU	26,587TEU	35,000TEU	×
2	商工部	入港船舶総トン数	1,750万トン	約1,739万トン	約1,629万トン	約1,555万トン	1,900万トン	×
3	中央卸売市場	青果部の取扱数量 水産物部の取扱数量 花き部取扱数量	68,041トン 28,016トン 35,425千本	62,125トン 25,602トン 34,589千本	60,786トン 24,797トン 33,942千本	59,232トン 23,305トン 34,368千本	58,800トン 22,500トン 35,500千本	△

2節 農林水産業の振興

1項 農林水産業経営の確立

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	農林部	担い手への農地の集積率	12.6%	37.4%	38.3%	34.7%	42.0%	○→△
1	農林部	認定農業者、集落営農組織 および3ha以上の経営耕地 面積を有する経営体数	384経営体	453経営体	470経営体	461経営体	460経営体	○→△
1	農林部	一農家当たりの農業収入	1,958千円	2,215千円	—	—	2,142千円	—
2	農林部	農業産出額 米の産出額 大豆の産出額 畜産の産出額 野菜の産出額 果実の産出額 花きの産出額 産地指定米の出荷額 大豆の出荷額 野菜の出荷額 花きの出荷額	8,800百万円 6,000百万円 60百万円 1,330百万円 1,030百万円 130百万円 250百万円 4,420百万円 34百万円 187百万円 62百万円	9,690百万円 6,840百万円 130百万円 1,350百万円 980百万円 190百万円 180百万円 1,339百万円 41百万円 216百万円 74百万円	—	—	8,550百万円 5,200百万円 70百万円 1,440百万円 1,380百万円 140百万円 320百万円 4,000百万円 40百万円 256百万円 68百万円	—
3	農林部	学校給食の地場産野菜の使用率	10.5%	9.1%	7.5%	8.8%	15.9%	△

2項 豊かな農山村の形成

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	農林部	かんがい排水施設の整備箇所	30カ所	30カ所	30カ所	30カ所	34カ所	○
1	農林部	ため池などの改良箇所	13カ所	15カ所	15カ所	15カ所	15カ所	○
2	農林部	治山事業による保全工事箇所	3カ所	4カ所	4カ所	4カ所	3カ所	○
2	農林部	市民参加による森林づくり の参加者数	0人	0人	489人	300人	300人	○
3	農林部	施業協定締結面積	0ha	0ha	0ha	0ha	7ha	△→×

3節 交流人口の拡大

1項 観光振興の推進

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	商工部	宿泊客数	113万人	121.5万人	107.6万人	108.8万人	124万人	△
1	商工部	観光案内人派遣件数 案内客数	75件 2,826人	133件 3,763人	62件 1,964人	51件 5,078人	90件 3,400人	△→○
2	商工部	年間観光入込み客数 (うち年間動物園入園者数) (うち年間千秋公園来園者数)	695万人 (25万人) (37万人)	764万人 (23万4千人) (55万1千人)	750万人 (26万2千人) (57万7千人)	887万人 (30万9千人) (52万2千人)	795万人 (30万人) (40万人)	○→△
4	商工部	市内およびその周辺でのコンベンション年間開催件数	73件	128件	141件	129件	150件	○→△
4	商工部	市内およびその周辺でのコンベンションの年間参加者数	33,000人	60,442人	57,270人	66,180人	50,000人	○→△
5	農林部	観光利用のスーパー農園利用者数	0人	111人	187人	182人	140人	○

2項 にぎわいの創出

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
2	商工部	ポートタワー高層部利用者数	58,013人	335,062人	266,466人	223,240人	60,000人	○→△
2	商工部	ポートタワーのホール利用件数	182件	199件	169件	129件	200件	○→△

2章 緑あふれる環境を備えた快適なまちづくり

1節 環境の保全

1項 環境保全の推進

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	環境部	調査実施対象となる生物分野(河辺雄和現況(策定時)調査)	0分野	0分野	2分野	6分野	2分野	○
2	環境部	環境基準の達成率(大気環境) 環境基準健康項目の達成率(水質環境)	87.5% 96.2%	94.5% 100%	93.6% 100%	74.5% 100%	100.0% 100.0%	△→×
4	環境部	市が実施する環境教育・学習事業への参加者の数	1,706人	2,714人	2,367人	2,064人	2,000人	○

2項 循環型社会の推進

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	環境部	事業系一般廃棄物(資源化物除く)の年間排出量	48,932トン	46,864トン	43,999トン	43,420トン	41,767トン	△
2	環境部	市民一人一日あたりの家庭系ごみ(資源化物除く)の排出量	645g	630g	608g	606g	556g以下	△

2節 都市基盤の確立

1項 秩序ある都市環境の形成

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	都市整備部	進捗率(秋田駅東第三地区) 進捗率(秋田駅西北地区)	28.4% 33.2%	34.8% 40.3%	37.9% 43.2%	41.2% 45.0%	40.0% 53.0%	△
3	都市整備部	公園愛護協力が管理する公園の数	193公園	225公園	249公園	354公園	238公園	○
4	都市整備部	ワークショップ等の開催回数(まちづくりルール)	6回	4回	8回	8回	10回	○→△

2項 住宅環境の整備

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	都市整備部	誘導居住面積水準達成率 バリアフリー化された戸建住宅の割合	63.6% 50.8%	—	64.1% 61.7%	64.1% 達成済	64.5% 58.5%	△
1	都市整備部	整備を計画している市営住宅に対する整備済みの住宅の割合	12.1%	—	33.8%	55.6%	55.6%	○
2	都市整備部	市民の要請によるまちづくり講習会開催数	1回	0回	0回	2回	6回	△
2	都市整備部	耐震化率	78.0%	79.0%	80.0%	81.7%	83.0%	○→△

3項 上下水道サービスの提供

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	上下水道局	有効率	93.4%	91.1%	92.3%	91.1%	95.0%	△→×
2	農林部	農業集落排水供用人口	10,829人	10,829人	11,523人	11,287人	12,192人	○→△
2	農林部	市設置型浄化槽設置基数	66基	125基	167基	188基	326基	△
2	上下水道局	公共下水道普及率	84.3%	86.9%	87.7%	88.5%	89.0%	○
2	上下水道局	水洗化率	82.8%	86.3%	86.6%	86.7%	88.9%	○→△

4項 道路整備の推進

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	建設部	都市計画道路の整備(整備率)	74.4%	73.9%	74.5%	75.0%	76.3%	○
1	建設部	土崎駅前線(進捗率)	71.0%	79.3%	88.2%	99.5%	100.0%	△
		秋田環状線(築山工区)(進捗率)	81.0%	81.2%	87.9%	93.9%	100.0%	
		新屋十軒町線(築山工区)(進捗率)	81.0%	81.2%	87.9%	93.9%	100.0%	
		外旭川新川線(八橋工区)(進捗率)	12.0%	23.6%	54.3%	76.1%	100.0%	
		明田外旭川線(手形工区)(進捗率)	87.0%	87.0%	87.0%	89.2%	100.0%	
		泉外旭川線(泉工区)(進捗率)	0%	0%	1.8%	6.1%	15.0%	
1	建設部	新都市大通線(進捗率)	37.0%	100%	100.0%	100.0%	100.0%	○
		上北手雄和線(進捗率)	34.0%	34.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
1	建設部	秋田中央道路(進捗率)	88.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	×
		川尻広面線(寺町工区)(進捗率)	70.0%	63.1%	63.1%	73.0%	100.0%	
		秋田駅東中央線(進捗率)	89.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
		横山金足線(飯島北工区)(進捗率)	68.0%	63.4%	81.0%	93.0%	22年度完成	
		新屋土崎線(山王工区)(進捗率)	62.0%	66.8%	74.0%	80.0%	100.0%	
		千秋広面線(手形工区)(進捗率)	52.0%	50.3%	53.0%	56.0%	23年度完成	
1	建設部	南部中央線(茨島工区)(進捗率)	53.0%	66.5%	89.0%	98.0%	100.0%	△
		割山南浜線(茨島工区)(進捗率)	0%	0.8%	17.0%	55.0%	84.0%	
2	建設部	鉄砲町交差点(整備率)	89.5%	96.2%	96.2%	100.0%	100.0%	○
		大学病院入口交差点(整備率)	0%	77.6%	100%	100.0%	100.0%	
2	建設部	猿田川端橋(整備率)	0%	4.9%	6.9%	100.0%	100.0%	○
2	建設部	川尻広面線(歩道整備率)	4.0%	18.7%	55.4%	66.8%	75.4%	○
2	建設部	大堰反線(電線共同溝整備率)	98.9%	100.0%	100.0%	100%	100.0%	○
		秋田環状線(電線共同溝整備率)	0%	5.6%	12.9%	55.1%	100.0%	

5項 公共交通機能の充実

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
2	都市整備部	バスなどの年度あたり利用者数	1,011万人	891万人	847万人	799万人 (内マイタウン・バス利用者数15万人)	813万人	△→×

6項 情報環境の充実

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	企画調整部	高速通信回線網未整備地域の世帯数	1,064世帯	1064世帯	205世帯	205世帯	700世帯	○
1	企画調整部	携帯電話完全不感地域の世帯数	443世帯	155世帯	93世帯	93世帯	250世帯	○

3章 健康で安全安心に暮らせるまちづくり

1節 安全な生活の実現

1項 危機管理体制の確立

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	総務部	自主防災組織結成率	57.9%	60.8%	62.5%	63.7%	67.0%	△
2	建設部	牛島工区(河川改修進捗率)	0%	11.5%	17.5%	23.1%	37.0%	○→×
3	消防	危険物施設の年間査察実施率	33.0%	40.2%	46.3%	40.5%	40.0%	○
4	保健所	危機管理訓練の実施回数	年1回	年2回	年2回	年0回	年3回	○→×

2項 雪に強いまちの確立

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	建設部	歩道消融雪設備整備延長 融雪施設改良箇所 防雪柵設置済み箇所数 防雪柵整備延長	2,782m 7カ所 12カ所 8,372m	秋田環状1号線外歩道消融雪実施設計委託1カ所、 泉天徳寺線融雪施設改良1カ所、 東上谷地大袋線防雪柵設置1カ所 L=499mを整備	新屋下川原寿町線と千秋久保田町城下町坂道線融雪施設改良2カ所、 古野荒巻線の防雪柵1カ所 L=212mを整備	秋田環状1号線歩道消融雪施設新設 L=403.2m、 中通本線歩道消融雪実施設計委託1箇所、 手形山田中線融雪施設改良 L=336.9m、 芝野鹿野戸線の防雪柵 L=224.6mを整備	1,240m 5カ所 3カ所 1,270m	○
2	建設部	除排雪機械貸し出し町内会数	40町内	7町内	12町内(うち新規貸出は5町内)	12町内(うち新規貸出は3町内)	52町内	○
3	建設部	市街地における堆雪場の確保	0カ所	7カ所	6カ所	7カ所	7カ所	○
3	建設部	「冬期の除雪」についての市民意識調査結果「悪い」「どちらかといえば悪い」の合計	61.9%	道路除排雪に関する市民アンケート調査結果「悪かった」「やや悪かった」の合計 幹線道路 7.1% 生活道路 22.8% 歩道 29.4%	市民意識調査の結果 57.1%	依然として苦情・要望はあるものの、平成21年度の除雪については、市民や議会からはおおむね良好との意見をいただいている。	50.0%未満	△

3項 防犯・交通安全体制の確立

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
2	教育委員会	安全対策委員会的人数	8,162人	8,652人	9,294人	8,995人	10,000人	○
3	市民生活部	交通事故死者数 交通事故死傷者数	9人 2,307人	10人 2,113人	8人 1,821人	9人 1,689人	7人以下 1,800人	△→×

2節 安心して暮らせる毎日の実現

1項 健全な消費・食生活の確保

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	市民生活部	出前講座の開催回数	年30回	年41回	年42回	年30回	年40回	○→△
2	保健所	食品関係許可施設の監視件数	2,841件	2,229件	2,265件	2,955件	3,000件	△
3	教育委員会	朝食を食べない児童の割合	4.0%	2.4%	2.7%	2.2%	0%	△→○
3	保健所	マタニティ食生活講座の開催回数	年4回	年4回	年4回	年3回	年6回	△→○

2項 保健・医療体制の充実

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	保健所	健康教育開催回数 健康相談開催回数	年569回 年724回	年606回 年689回	年591回 年676回	年537回 年717回	年586回 年745回	○
2	保健所	中性脂肪値の有所見割合 HDLコレステロール値の有所見割合 空腹時血糖値の有所見割合 血圧の有所見割合	17.0% 5.4% 8.1% 60.7%	19.0% 4.6% 10.0% 60.6%	— —	— —	15.2% 4.8% 7.2% 54.2%	—
3	保健所	登録頭数に対する狂犬病予防注射接種率	77.3%	78.40%	80.80%	81.10%	80.0%	○
3	保健所	市民や事業所に対する啓発のための研修会の開催回数	年13回	年19回	年13回	年21回	年17回	○

3項 消防・救急体制の充実

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	消防	火災件数に占める放火または放火の疑い割合	17.0%	10.0%	19.2%	17.9%	10.0%以下	△
2	消防	定員に対する充足率(消防団組織)	92.9%	90.3%	91.6%	94.4%	95.0%	○
3	消防	救急救命士の数	37人	38人	39人	40人	42人	△
3	消防	講習会修了証取得者(応急手当)	67,808人	73,465人	78,275人	82,730人	100,000人	○

4項 社会保障制度の確保

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
2	福祉保健部	要支援・要介護1の状態の維持率	0%	△7.9%	△9.24%	△1.58%	10.7%	△
3	市民生活部	現年度収納率	89.1%	88.75%	86.07%	84.61%	89.1%以上	×

4章 家族と地域が支えあう元気なまちづくり

1節 家族や地域を支える絆づくり

1項 家族・地域の絆づくりの推進

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
2	企画調整部	家族・地域の絆づくりふれあい推進事業により支援する民間主体の事業実施数	0事業	1事業	1事業	3事業	3事業	△→○

2項 男女共生社会の確立

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	企画調整部	市の審議会、委員会などへの女性参画率	31.2%	31.1%	32.0%	32.5%	40.0%	△

2節 地域福祉の充実

1項 地域福祉の推進

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	福祉保健部	福祉ボランティアの実登録者数	個人944名 団体199団体	個人953名 団体205団体	個人1,004名 団体216団体	個人1,022名 団体217団体	個人1,000名 団体210団体	○

2項 児童福祉・子育て支援の充実

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	福祉保健部	子ども未来センター事業参加者数	73,664人	82,679人	78,346人	71,925人	78,013人	△→×
1	福祉保健部	ファミリー・サポート・センター会員数(利用会員)(協力会員)	利用会員 1,295人 協力会員 252人	利用会員 1,414人 協力会員 292人	利用会員 1,414人 協力会員 299人	利用会員 1,501人 協力会員 323人	利用会員 1,424人 協力会員 301人	△
1	福祉保健部	子育てサポートクーポン券交付率	76.7%	83.7%	82.0%	82.1%	85.0%	△
2	福祉保健部	公立保育所民間移行施設計画に基づく民間移行済み施設数	1カ所	0カ所	0カ所	0カ所	3カ所	×

3項 障害者福祉の充実

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	福祉保健部	就労移行支援の利用者数	0人	8人	31人	29人	42人	△
2	保健所	嘱託医による心の健康相談日の実施回数	年24回開催	年24回開催	年24回開催	年24回開催	年24回開催	○
3	福祉保健部	居宅介護サービス提供量	3,553時間/月	3,797時間/月	3,135時間/月	4,471時間/月	4,521時間/月	△→○
3	福祉保健部	グループホーム利用者数	78人	96人	112人	131人	120人	△→○

4項 高齢者福祉の充実

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	福祉保健部	老人クラブ数 老人クラブ会員数	クラブ 244団体 会員 12,772人	クラブ 236団体 会員 12,089人	クラブ 217団体 会員 10,702人	クラブ 217団体 会員 10,702人	クラブ 247団体 会員 12,900人	×
2	福祉保健部	地域包括支援センター設置数 介護予防ケアマネジメント取扱件数	0カ所 0件	11カ所(内基幹型1カ所) 1,707件	11カ所(内基幹型1カ所)、 1,773件	11カ所(内基幹型1カ所)、 2,007件	10カ所 4,200件	×
2	福祉保健部	特別養護老人ホームの整備数	14施設 904人	15施設 954人	15施設 954人	16施設 1,004人	16施設 1,004人	○
3	福祉保健部	介護予防事業実施数	5事業	6事業	7事業	7事業	8事業	○

3節 市民の主体的な活動の実現

1項 市民による地域づくりの推進

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	地域振興部	地域づくり組織の結成数	0組織	0組織	1組織	1組織	4組織	○
2	地域振興部	(仮称)市民サービスセンターの整備済み施設数	0施設	0施設	1施設	1施設	1施設	○

2項 市民活動の促進

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	地域振興部	地域活動支援機能の整備数	0件	0件	1件	1件	1件	○
1	地域振興部	地域愛形成事業の提案対象事業数および実施件数	2件	2件	7件(19年度までの実施2件、20年度の新規5件)	8件	8件	○
2	都市整備部	市民交流サロン年間利用者数	11,242人	8,360人	8,190人	9,751人	14,000人	△

5章 人と文化をはぐくむ誇れるまちづくり

1節 文化の創造

1項 歴史資産の保存と活用

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	教育委員会	史跡秋田城跡の環境整備事業進捗率	54.0%	54.0%	54.00%	54.00%	60.0%	△→×
1	教育委員会	地蔵田遺跡の環境整備事業進捗率	90.0%	100%	100%	100%	100.0%	○

2項 市民文化の振興

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	教育委員会	市が支援した事業への年間参加者数	31,041人	24,253人	23,988人	28,378人	33,000人	△
2	教育委員会	文化施設の年間利用者数	639,719人	697,041人	666,924人	627,408人	650,000人	○→△

3項 スポーツ活動の推進

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	教育委員会	週1回以上運動やスポーツを行う20歳以上の市民の割合	31.8%	—	38.40%	41.70%	46.0%	○→△
2	教育委員会	スポーツ施設年間利用者数 学校体育施設年間利用者数	553,664人 593,180人	757,902人 545,917人	741,055人 575,231人	850,760人 554,816人	600,000人 610,000人	○

4項 国際交流の推進

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	企画調整部	友好姉妹都市との交流者累積数	2,431人	2,531人	2,579人	2,701人	2,515人	○
2	企画調整部	日本語教室受講者累積数	1,440人	2,188人	2,547人	2,826人	1,500人	○

2節 教育の充実

1項 社会教育の充実

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	教育委員会	秋田市生涯学習講師累積登録者数	835人	850人	866人	744人	880人	○→△
2	教育委員会	公民館の年間利用者数	466,201人	451,821人	432,992人	451,983人	480,000人	△
2	教育委員会	12歳以下人口における図書貸し出しのための利用者登録率	5.2%	5.4%	4.80%	4.60%	7.6%	○→△
3	教育委員会	児童館の年間利用児童数	517,622人	533,477人	526,059人	491,962人	605,000人	×

2項 学校教育の充実

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
4	教育委員会	市立小・中学校の耐震化率	67.6%	79.7%	86.15%	88.60%	87.3%	○

3項 高等教育の充実

主要	部局名	指標	現況(策定時)	19年度末	20年度末	21年度末	目標	評価
1	美短	公開講座年間受講者数 ももさだアートスクール年間受講者数	54名 72名	230人 43人	144人 18人	241人 84人	70名 90名	○→△
1	美短	大学コンソーシアムあきた 高大連携および社会人講座 年間受講者数	92名	99人	65人	133人	120名	△→○
2	美短	秋田公立美術工芸短期大学 附属図書館の蔵書数	31,331冊	35,007冊	37,042冊	38,977冊	35,670冊	○

【市民意識調査結果の推移】

1 秋田市行政に対する評価の推移について

平成 17 年度に実施した「秋田市しあわせづくり市民意識調査」と 20 年度の「秋田市しあわせづくり市民意識調査Ⅱ」において、共通の質問として、行政の市民サービスなど市民の日常生活に深く関わる 30 項目について市民の評価を集計した。

平成 20 年度の調査結果をみると、「よい」「どちらかといえばよい」の合計が過半数を超える施策はなく、逆に「悪い」「どちらかといえば悪い」の合計値が過半数を超える施策が 5 項目（「産業や雇用の状況（86.0%）」「まちなのにぎわい（72.3%）」「観光地としての魅力（61.2%）」「冬期の除雪について（57.1%）」「バス、電車などの利用のしやすさ（56.6%）」）あった。

これらを分析するため、設定した 30 の評価項目を性質別に以下の 5 つの 카테고リーに分類し、それぞれについて 17 年度と 20 年度の評価を比較した。（カッコ内は、市民意識調査の質問番号）

< カテゴリー分類 >

- (1) 産業・経済基盤（項目 2、5、6、7、12）
- (2) 環境・都市基盤（項目 1、3、4、10、18、19）
- (3) 安全・安心基盤（項目 8、9、11、13、16、17）
- (4) 福祉・支えあい基盤（項目 14、15、20、21、26）
- (5) 文化・学習基盤（項目 22、23、24、25）
- (6) 行政による市民サービス（項目 27、28、29、30）

2 カテゴリー分類別の評価状況について

(1) 産業・経済基盤

- ・産業や雇用の状況の評価は、30 項目中、最も評価が低く、前回の調査時よりさらに評価が下がっている。
- ・観光地としての魅力も評価は低く、魅力の向上は大きな課題である。
- ・経済・学術交流などの国際化の進展に対する評価は低く、前回調査よりも低くなっている。
- ・まちなのにぎわいの評価は低く、前回よりもさらに低くなっている。
- ・買い物のしやすさの評価は、他の項目に比べ評価が高いものの、前回よりも評価が下がっている。

産業・経済基盤 項目名	「よい」の合計		「悪い」の合計	
	17年度	20年度	17年度	20年度
まちなみにぎわい	4.3%	3.4%	65.2%	72.3%
観光地としての魅力は	10.6%	11.0%	60.2%	61.2%
産業や雇用の状況は	1.3%	0.5%	81.1%	86.0%
経済・学術交流などの国際化の進み具合は	8.2%	5.9%	44.5%	49.8%
買い物のしやすさは	24.9%	21.2%	25.5%	28.5%
平均	9.9%	8.4%	55.3%	59.6%

(2) 環境・都市基盤

- ・環境部門の項目の評価が高い。特に、ごみの収集・処理やリサイクルへの取組は30項目中2番目に評価が高い。
- ・公園や緑地・街路樹の整備など緑の空間の創出は評価が高い。また、道路整備、も評価されており、前回調査時よりもさらに評価が良くなっている。
- ・バス、電車などの利用による移動手段の確保に関する項目は評価の低いグループに位置づけられる。バス、電車などの公共交通に対しては、前回調査よりもさらに評価が下がっている。

環境・都市基盤 項目名	「よい」の合計		「悪い」の合計	
	17年度	20年度	17年度	20年度
道路の整備状況は	20.3%	23.6%	34.7%	28.3%
公園や緑地、街路樹など緑の豊かさは	42.6%	44.2%	12.1%	11.0%
まちなみなどの景観は	17.9%	18.8%	27.6%	27.3%
バス、電車などの利用しやすさは	13.6%	9.1%	48.9%	56.6%
ごみの収集・処理やリサイクルへの取組は	46.6%	42.0%	8.7%	9.1%
環境保全への取り組みは	21.3%	19.9%	11.9%	10.2%
平均	27.1%	26.3%	24.0%	23.8%

(3) 安全・安心基盤

- ・このカテゴリーに入る項目は、比較的評価が高い。とりわけ、食の安全・安心は、30項目の中でも評価の高い方に位置づけられる。
- ・冬期除雪に対する評価は、低いですが、若干ではあるものの前回の調査より評価は良くなっている。
- ・病院などの医療機関の利用のしやすさ、健康診断や予防接種などの受けやすさは、比較的評価は高く、「よい」が「悪い」を上回っている。

安全・安心基盤 項目名	「よい」の合計		「悪い」の合計	
	17年度	20年度	17年度	20年度
冬期の除雪については	11.3%	12.8%	61.9%	57.1%
大雨、地震など自然災害への安全性は	16.1%	18.7%	25.8%	21.2%
防犯への取り組みは	11.7%	12.4%	25.2%	20.3%
食の安全・安心は	37.8%	34.7%	5.5%	6.4%
病院などの医療機関の利用しやすさは	26.6%	24.4%	20.4%	22.0%
健康診断や予防接種などの受けやすさは	28.1%	28.6%	11.1%	10.1%
平均	21.9%	21.9%	25.0%	22.9%

(4) 福祉・支えあい基盤

- ・高齢者・障害者の生活のしやすさの評価は前回調査よりもさらに下がり、「よい」が10.0%に対し、「悪い」は38.7%である。
- ・女性の社会参加のしやすさ、NPO、ボランティア活動などの市民活動のしやすさは評価が低い項目のグループに入っている。

福祉・支えあい基盤 項目名	「よい」の合計		「悪い」の合計	
	17年度	20年度	17年度	20年度
高齢者・障害者の生活のしやすさは	12.3%	10.0%	36.5%	38.7%
子どもの育てやすさは	19.4%	19.1%	21.7%	19.8%
町内会など自治活動の状況は	19.0%	17.9%	17.2%	14.7%
NPO・ボランティア活動など市民活動のしやすさは	7.1%	6.7%	22.8%	21.2%
女性の社会参加のしやすさは	9.3%	8.0%	27.4%	28.0%
平均	13.4%	12.3%	25.1%	24.4%

(5) 文化・学習基盤

- ・スポーツ活動は比較的评价が高いものの、レジャー・娯楽などのレクリエーションは評価が低くなっている。

文化・スポーツ・学習基盤 項目名	「よい」の合計		「悪い」の合計	
	17年度	20年度	17年度	20年度
サークルなど生涯学習のしやすさは	18.2%	13.8%	19.0%	18.7%
スポーツ活動のしやすさは	23.0%	19.8%	15.6%	15.5%
文化・芸術活動のしやすさは	14.9%	13.9%	18.6%	17.5%
レジャー・娯楽などレクリエーションのしやすさは	10.8%	10.7%	40.2%	41.3%
平均	16.7%	14.6%	23.4%	23.3%

(6) 行政による市民サービス

- ・ 広報あきたなどの市民情報の得やすさは極めて評価が高い。
- ・ ホームページを使った市民サービスの評価は前回調査時とおおむね横ばいで、「よい」が「悪い」を若干上回っている。

行政による市民サービス 項目名	「よい」の合計		「悪い」の合計	
	17年度	20年度	17年度	20年度
市民の市政参加のしやすさは	7.9%	5.8%	27.3%	26.8%
市役所の窓口サービスは	22.8%	19.7%	20.6%	20.1%
広報あきたなど市政情報の得やすさは	40.8%	35.3%	6.9%	7.0%
ホームページを使った市民サービスは	15.9%	15.0%	9.0%	9.3%
平均	21.9%	19.0%	16.0%	15.8%

3 年代別による評価の違い

年代別で評価が分かれる施策には、「道路の整備状況」「まちなぎわい」「公園や緑地、街路樹などの緑の豊かさ」などがあつた。

このうち、年齢が高くなるに従って評価が良くなるものには、「道路の整備状況」「バス、電車などの利用のしやすさ」「高齢者、障害者の生活のしやすさ」「病院などの医療機関の利用のしやすさ」「市役所の窓口サービス」などがあるが、概して60代、70代以上の高齢者ほど各項目の評価が良かった。

4 秋田市の施策の優先度の推移について

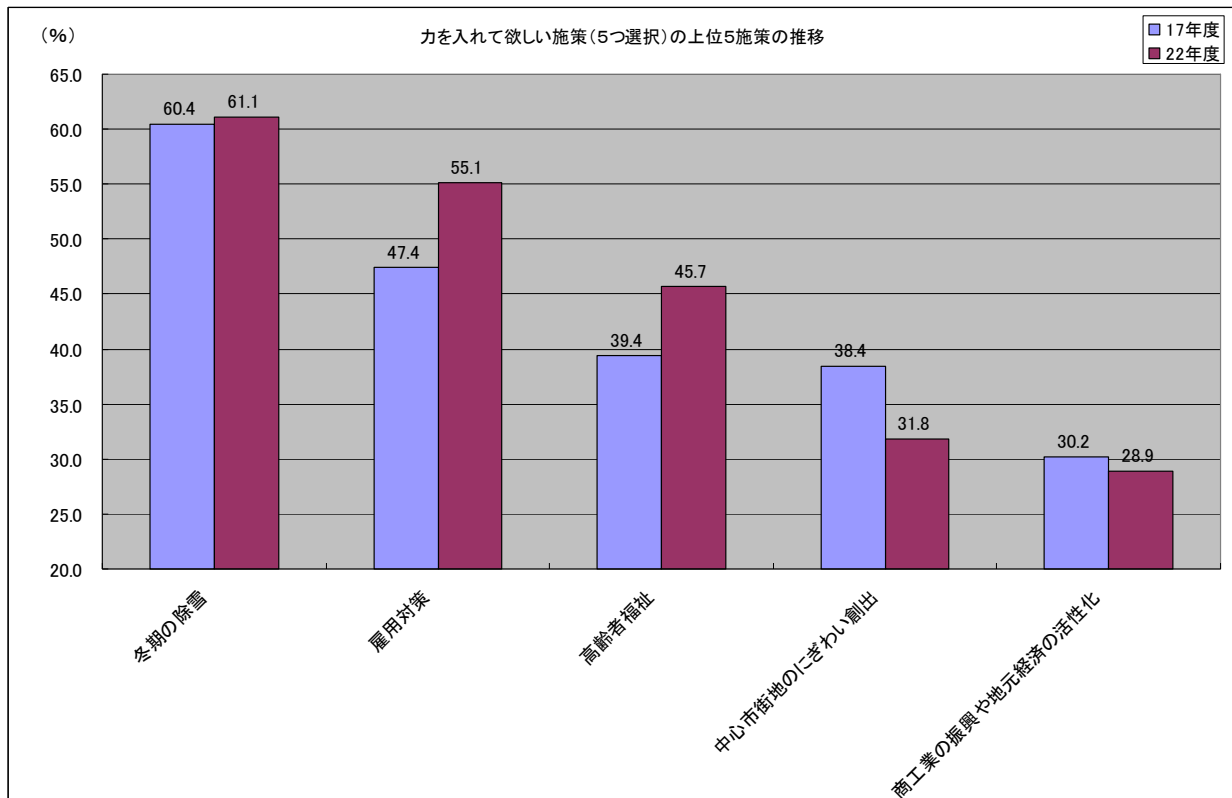
平成17年度に実施した「秋田市しあわせづくり市民意識調査」と22年度に都市計画課で実施したアンケートにおいて、共通の質問として、秋田市で実施している32施策の中で「力を入れて欲しいこと」を5つ選び、そのうち「最も力を入れて欲しいこと」1つを選択したものを比較し、市民のニーズの変化を測定した。

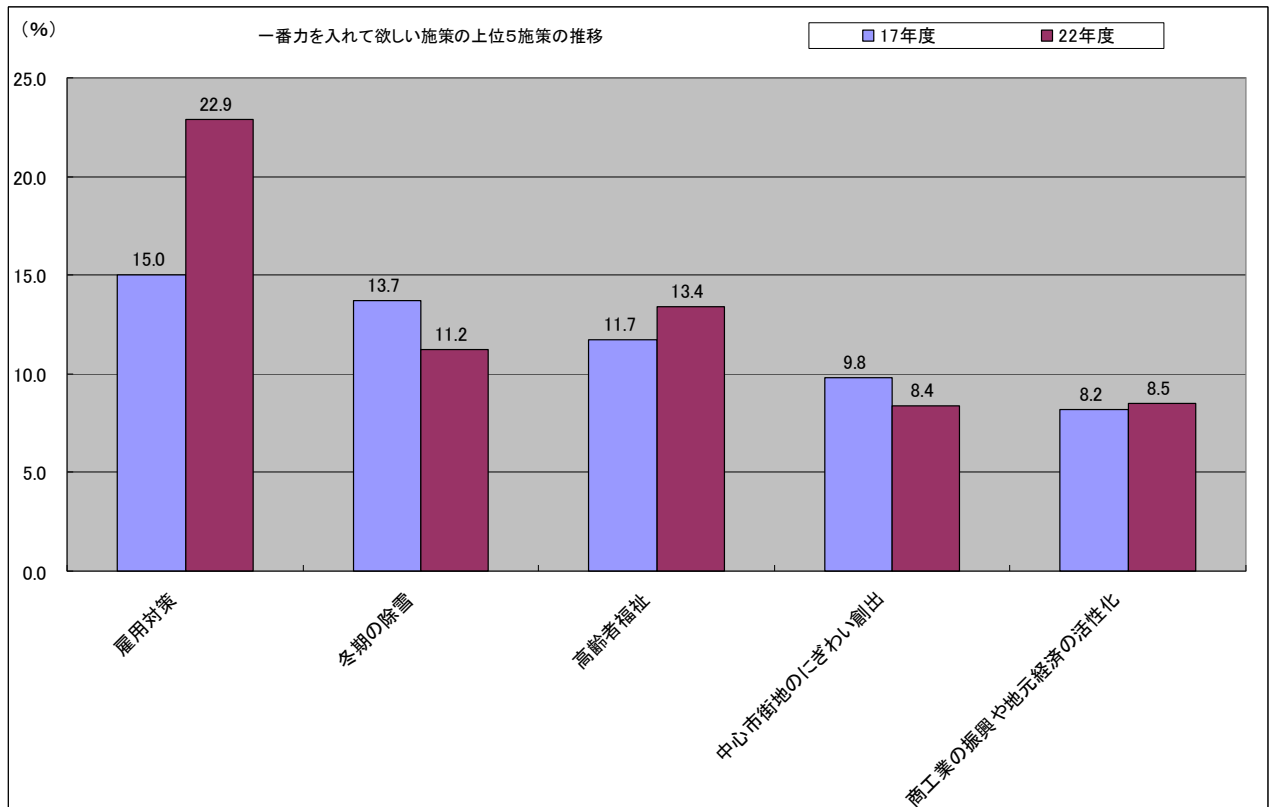
結果をみると、平成17年の調査では、「冬期の除雪(60.4%)」が力を入れて欲しい施策として挙げられており、続いて「雇用対策(47.4%)」「高齢者福祉(39.4%)」「中心市街地のにぎわい創出(38.4%)」であった。これらは、分野別評価で「悪い」という評価が多かった施策が上位に入る傾向にあつた。

22年度のアンケートとの比較では、「雇用対策」は現在の社会経済情勢を反映し、力を入れて欲しいという比率が55.1%にも上昇している。また「高齢者福祉」も上昇しており、約半分の市民が力を入れて欲しいと答えている。一方、「中心市街地のにぎわい創出」は、前回調査から下降している。このほか、「バス路線の維持」が前回調査から12.5ポイント上昇し、4位に位置づけられている。また、「ごみ処

理やリサイクル対策」も前回調査から6.9ポイント増加し、ニーズが高まっている。

最も力を入れて欲しい施策についても、「雇用対策」へのニーズは極めて高く、前回調査に比べて約8ポイント上昇しており、市民の5人に1人はこの施策を挙げていることになる。また、「商工業の振興や地元経済の活性化」も高い値であり、今日の景気悪化の世相が結果に現われており、経済対策の重要性が示唆される。





5 次期総合計画への結果の活用

- まちのにぎわいや観光地としての魅力の評価が低く、本市の魅力の向上は大きな課題であることから、「都市イメージ『ブランドあきた』の確立」や「観光あきた維新」を成長戦略として設定する。
- 産業や雇用の状況については、30項目中、最も評価が低く、また前回調査よりも低下していること、さらに雇用対策や商工業振興、地元企業活性化のニーズが高いことを踏まえ、「地域産業の競争力強化」を成長戦略として設定する。
- 「ごみ処理やリサイクル対策」についての市民ニーズが高まっており、市民の地球温暖化対策をはじめとする環境問題に対する意識に変化があることを踏まえ、「環境立市あきたの実現」を成長戦略として設定する。
- 高齢者・障がい者の生活のしやすさの評価が低くなっていることに加え、「高齢者福祉」は、引き続き高いニーズがある。また、「バス路線の維持」のニーズが前回調査に比べ大きく高まっている。以上のことから、高齢者をはじめとする誰もが暮らしやすい社会環境を整えていくため、「エイジフレンドリーシティの実現」を成長戦略として設定する。